

## 正誤表

講談社ブルーバックス

『宇宙と物質の起源 「見えない世界」を理解する』

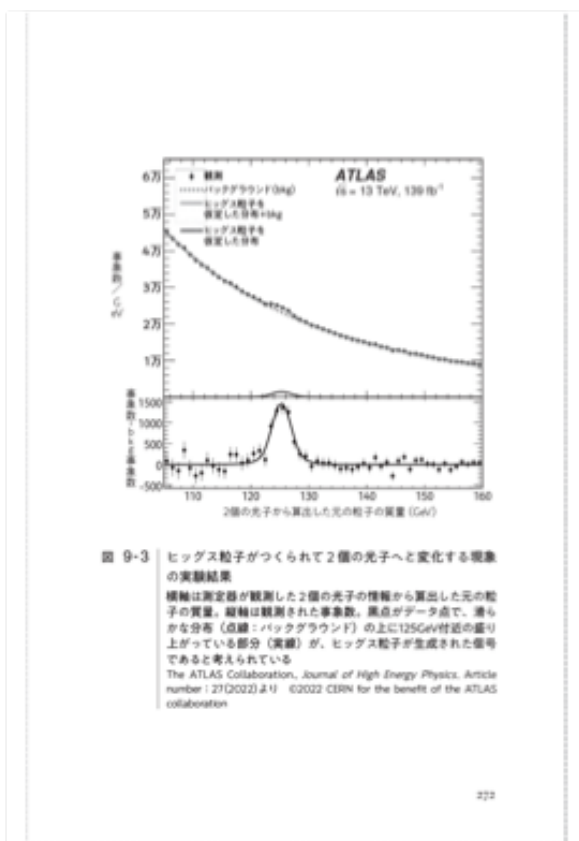
発刊後に判明した正誤リストを順次記載していきます。

(1) 272 ページ、図 9-3 で、上部 2 つ目のプロットの一番下に 0 を入れます。

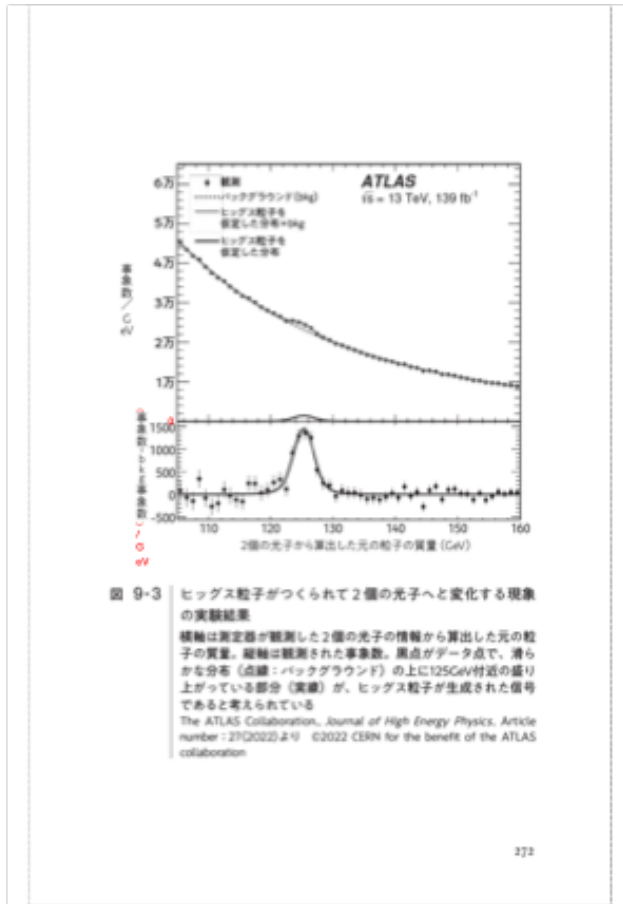
(2) 同ページ、図 9-3 の 2 つ目の縦軸表記を以下のように修正。

「事象数 - bkg 事象数」 ⇒ 「(事象数 - bkg 事象数)」。

修正前と後の図 9-3 を載せます。(修正後の 9-3 図での 2 ヶ所の赤字部をご覧ください。)



修正前の図 9-3



修正後の図 9-3

(3) 15 ページ、第 3 章目次での後ろから 2 番目の小見出し：

「r 過程が起きている天体の候補：超新星爆発や中性子合体」⇒「r 過程が起きている天体の候補：超新星爆発や中性子星合体」、

(4) 119 ページ、小見出し：「r 過程が起きている天体の候補：超新星爆発や中性子合体」⇒「r 過程が起きている天体の候補：超新星爆発や中性子星合体」、

(5) 308 ページ、下方から 3 行目：「誤差をして、」⇒「誤差を考慮して、」、

以下、(18) までは索引情報に関する修正となります。

(6) 314 ページ、索引項目左欄 4 行目、マルチバース仮説：「301」⇒「299」、

(7) 314 ページ、索引項目左欄 24 行目「量子ゆらぎ」：「132」⇒「233」、

(8) 315 ページ、索引項目右欄 6 行目、非摂動限界：「292」⇒「290」、

(9) 316 ページ、索引項目左欄 32 行目、ダークエネルギー問題：「262」⇒「261」

(1 0) 316 ページ、索引項目右欄 1 行目、ダークマター (暗黒物質) : 「242」⇒  
「240」、

(1 1) 316 ページ、索引項目右欄 6 行目、大統一力 : 「287」⇒「285」、

(1 2) 316 ページ、索引項目右欄 22 行目、超伝導状態 : 「287」⇒「285」、

(1 3) 316 ページ、索引項目右欄 22 行目、超大統一力 : 「287」⇒「285」、

(1 4) 317 ページ、索引項目左欄 23 行目、宇宙定数問題 : 「262」⇒「261」、

(1 5) 318 ページ、索引項目右欄 16 行目 : 「J-PARK」⇒「J-PARC」、

(1 6) 318 ページ、索引項目右欄 22 行目、LHC(大型ハドロン衝突型加速器) :  
「272」⇒「270」、

(1 7) 318 ページ、索引項目右欄 30 行目、「r 過程 (速い(rapid)中性子捕獲過程) :  
「113」⇒「112」、

(1 8) 318 ページ、索引項目右欄 32 行目、「s 過程 (遅い(slow)中性子捕獲過程) :  
「113」⇒「112」、

(1 9) 9 ページ、2 行目 : 「欧州合同原子核研究機関」⇒「欧州合同原子核研究機構」

(2 0) 157 ページ、1 行目 : 「であり、その 2 乗は、」⇒「であり、存在確率に比例す  
る絶対値の 2 乗は、」

(2 1) 157 ページ、2 行目 :  $z^2=(a+ib)(a-ib)=a^2+b^2 \Rightarrow |z|^2=(a+ib)(a-ib)=a^2+b^2$

(2 2) 158 ページ、6 行目 :  $z^2=r^2(\cos(\theta)+i\sin(\theta))^2=r^2$

$(\cos^2(\theta)+\sin^2(\theta))=r^2 \Rightarrow |z|^2=r^2|\cos(\theta)+i\sin(\theta)|^2=r^2(\cos^2(\theta)+\sin^2(\theta))=r^2$  (2 3)

158 ページ、7 行目 : 「電子の位置の確率を示す  $z^2$  は変化しないからです。」⇒「電子の  
位置の存在確率に比例する量である  $|z|^2$  は変化しないからです。」

(2 4) 269 ページ、1 行目 :  $\phi_1(x,y,z,t) \Rightarrow \varphi_1(x,y,z,t)$

(2 5) 269 ページ、2 行目 :  $\phi_2(x,y,z,t) \Rightarrow \varphi_2(x,y,z,t)$

(2 6) 同 269 ページ、2 行目 : 「 $(|\phi_1|, |\phi_2|)$  という大きさのエネルギー」⇒

「 $(|\varphi_1|, |\varphi_2|)$  という大きさのエネルギー」

(2 7) 同 269 ページ、4 行目 : 「複素ヒッグス場  $\phi_1$  と  $\phi_2$  に場の値  $(|\phi_1|, |\phi_2|)$  を」  
⇒「複素ヒッグス場  $\varphi_1$  と  $\varphi_2$  に場の値  $(|\varphi_1|, |\varphi_2|)$  を」

2024 年 7 月 29 日  
高エネルギー加速器研究所  
素粒子原子核研究所